

《履修証明プログラム 開講時間割表（2019年度後期9月～2月）》（予定）

■ = 実習の各コース共通科目 ■ = 講義の各コース共通科目

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50
		1		2		昼休み	3		4		5	
月	ガラス						①ガラス・陶磁器演習Ⅰ（初心者～中級者） 〔67.5時間〕＜9601＞					
	陶芸											
	講義											
火	ガラス		②ガラス・陶磁器演習Ⅲ（上級者） 〔67.5時間〕＜9601＞									
	陶芸											
	講義						③作品の見方 〔22.5時間〕＜1106＞		④美術工芸教育論 〔22.5時間〕＜1105＞		⑤色彩と表現 〔22.5時間〕＜1105＞	
水	講義	⑥アート・マネジメント 〔22.5時間〕＜1105＞		⑦模型・フィギュア造形論 〔22.5時間〕＜8216＞								
木	ガラス								⑧クラフト実習A 〔45時間〕＜9601＞			
	陶芸											
	講義			⑨現代美術 〔22.5時間〕＜1105＞								
金	ガラス		⑩スケッチ・素描・イメージ 〔45時間〕＜3101B＞									
	陶芸											

※〔 〕内の時間は、15週の総時間数です。

【授業内容】

※さらに詳しい授業内容については、本学HP (<http://www.kobe-du.ac.jp/campuslife/class/schedule/syllabus/>) をご覧ください。

- ①ガラス分野の基本的な技法をそれぞれ実験的な課題で研究し、材料に対する知識と表現の可能性を探ります。また、ガラスのテストピースを窯の温度、焼成時などで工夫しながら実験、研究を行い、窯に対する工学的な知識も学習します。
- ②与えられたテーマに沿って、高度で洗練された課題作品を制作します。
- ③作家に必要な「作品を見る力」を養うことを目的に実践的な学習を行います。
「作品をたくさん見る」ことを重視し、最後に作品の傾向や特徴を分析し、パネルにまとめて展示します。
- ④芸術と社会の関係について、社会教育や地域づくりの観点から多角的に学び、「人と人をアートでつなぐプロジェクト」を企画できる能力を身につけます。
- ⑤色彩を現実のアートやデザインに応用するために、ヒントとしての「色彩のしくみ」や「アートとデザインの実際」を多くのイメージ(写真など)を見ながら理解し、色彩感覚を高める方法を学びます。
- ⑥クリエイターやアーティストを支援し、アートと社会をつなぐ「アート・マネジメント」の考え方を学び、アートやデザインプロジェクトについて企画運営の基礎的知識を習得します。
- ⑦歴史、造形、材料、発想などの観点から、戦後の模型・フィギュアの変遷とその魅力について理解を深めます。
- ⑧クラフト領域各コースで扱う素材に関して、基本的な技法を一通り身につけます。
- ⑨現代アートを理解するために、アートの起源から特に近代以降の美術を中心に、実際の作家や作品に触れながら今日的意味やコンセプト(概念・発想)について学びます。
- ⑩美術・クラフトのトレーニングとして表現の基礎を学びます。スケッチ、デッサン、クロッキーでモノを見る目を養い、多様な主題のスケッチ・素描を実践し、作品制作の基礎となる観察力と描写力を身につけます。

【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初心者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。
- 履修科目を登録する際に単位認定を希望する方については、プログラム修了時に審査の上、単位認定することができます。なお、一度単位を認定された科目については、次年度以降に再履修しても単位認定を受けることはできません。

【履修モデル（参考）】

《初心者の方…経験のない方》

◎講義から「作品の見方」「現代美術」の2講座

◎実習から「クラフト実習A」「ガラス・陶磁器演習Ⅰ」、「スケッチ・素描・イメージ」の3講座

《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

◎講義から「模型・フィギュア造形論」「色彩と表現」の2講座

◎実習から「クラフト実習A」「ガラス・陶磁器演習Ⅲ」の2講座

《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

◎講義から「アート・マネジメント」「美術工芸教育論」の2講座

◎実習から「ガラス・陶磁器演習Ⅲ」
